

胎児健診エコー開始のお知らせ



2015年5月～

「胎児健診エコー(初・中・後期)」を開始しました。
赤ちゃんの大切な時期に定期検査を行い、
検査技師が時間をかけて詳しく見ます。

医師が妊婦健診時に行う超音波検査では、
順調に成長しているか、大きな異常はないか、
切迫早産の兆候はないか、に焦点を当てています。

時期	初期(16～19週)、中期(20～23週)、後期(30～33週)の3回
費用	胎児1人あたり 1回毎に3,760円【自費・税込】
所要時間	15分程度



何を見ているの？

初期

まだまだ赤ちゃんが小さく、お母さんは胎動を感じない時期なので赤ちゃんが無事かどうか心配な時期でもありますね。
検査では、赤ちゃんの大きさ、手足の確認、心拍の確認、その他大きな問題がないかをみています。

中期

初期に比べ赤ちゃんも大きくなり、今まで小さくて見えなかった部分の観察が出来るようになります。胎動も感じ始め、男の子か女の子か気になる頃ですね。
検査では赤ちゃんの推定体重(身長は計れません)の計測、胎盤の位置、羊水の量、目や胃や膀胱などの確認を行います。心臓はまだ小さく観察が難しい時期です。性別は赤ちゃんが見せてくれれば分かることもあります。

後期

さらに大きくなり、お肉もつきだしてより赤ちゃんらしく見えてきます。
検査では中期と同じ様なことに加え、鼻や口、心臓や腎臓などの確認を行います。
この頃、一番よく性別がわかる時期でもあります。

ただし、赤ちゃんに問題がないかどうか全てがエコーで分かるということではありません。
産まれてから分かること、手足の指などは細かすぎて分からないということもあるので
ご了承ください。26～28週頃には胎児心エコー検査を行い、胎児の心奇形がないかどうか
確認を行っています。

健診終了時に赤ちゃんの様子を見て映像をDVDに録画しお渡しします。
赤ちゃんの様子がわかりやすい時には、4D超音波をご覧いただけます。

妊婦健診の際に外来で予約を承ります。
※予約枠には限りがあり、ご希望の日程では予約できないことがあります。